



全国中学校駅伝

県代表で男女とも市内中学校が出場
 土山中(男子)・甲南中(女子)

12月16日(土)に山口県で第14回全国中学校駅伝大会が開催されました。

同大会に県代表として出場したのは男子が土山中中学校、女子が甲南中学校で、市内より男女ペアでの出場という快挙を成し遂げました。

土山中中学校は、3年連続3回目、甲南中学校は初めての出場でした。結果は、男女ともに23位と最後まで粘りと頑張りを見せ、甲賀市を全国にアピールしました。

また、全国大会に先駆けて行われた第55回近畿中学校駅伝競走大会にも市内から男子は土山中中学校、水口中学校、甲南中学校の3チームが、女子では、甲南中学校と城山中学校の2チームが出場し、元気な走りを見せました。



全国大会出場

写真は、12月1日(金)に開催された壮行会で健闘を誓ってくれた両チーム。壮行会には中嶋市長も駆けつけ選手の皆さんを激励しました。

鈴鹿馬子唄保存会

**地域文化を
 守り、伝える**



市内土山地域に伝わる鈴鹿馬子唄。甲賀市の地域文化を代表する一つとして今も地域の人々に愛されています。

鈴鹿馬子唄保存会の皆さんは、この馬子唄を守り伝えていこうと活躍されています。子どもを対象とした馬子唄教室の開催や、「鈴鹿馬子唄全国大会」の企画運営への参画など、地道な活動に地域の皆さんからも期待が寄せられています。今後も、市の大切な財産を次の時代に伝えていただきたいと思います。

そうしたなか、鈴鹿馬子唄保存会が、「滋賀県文化奨励賞」を受けられました。この表彰は県下の文化の高揚に貢献し、その功績が顕著な個人または団体に贈られるものです。受賞おめでとうございます。



▲小学校での馬子唄教室の様子



信楽の冬を駆け抜ける

しがらきマラソンジョギング大会

元気にスタートする親子ランナー

甲賀市体育協会信楽支部主催のしがらきマラソンジョギング大会が、12月17日(日)に開催されました。今年で30回を数えた今回の大会には、町内を中心に約250人が参加、冬の信楽を駆け抜けました。この大会には、小さい子どもさんも参加できるようにと親子ジョギングの部も設けられており、手をつないだ親子ランナーが走る和やかな一面が見られるのもこの大会ならではの。また会場では、うどんやぜんざいも振舞われ、走り終えた選手の皆さんが疲れた体を癒されました。

市内の優勝者の皆さん

- ◆第1部 (3km)
 (小学1~3年生・男)
 なかくぼ 哲哉(信楽町中野)
- ◆第2部 (3km)
 (小学1~3年生・女)
 こにし もえ 小西 萌慧(信楽町勅旨)
- ◆第3部 (3km)
 (小学4~6年生・男)
 たからもと ともき 宝本 知樹(水口町三大寺)
- ◆第5部 (3km)
 (中学生・男)
 さとみ たくや 里見 卓哉(信楽町牧)
- ◆第6部 (3km)
 (中学生・女)
 むらき みなみ 村木 南美(信楽町長野)
- ◆第8部 (3km)
 (高校生・女)
 やまもと こゆき 山本 湖夕姫(信楽町西)
- ◆第9部 (3km)
 (40~59歳・男)
 おおしま あきら 大島 章(信楽町田代)
- ◆第14部 (5km)
 (一般・男女)
 たじま ひろふみ 田嶋 博文(信楽町田代)



▲出発式でテープカットを行う佐々木さん(中央)ら



▲応募作品を掲示した救急キャンペーン号

**みんなの救急
 キャンペーン号
 出発!!**

市役所甲南庁舎で11月11日(土)、「きゅうきゅうの絵作品展」表彰式と救急キャンペーン号出発式を行いました。

これは救急啓発事業の一環として甲賀広域行政組合甲南消防署が小学生以下の児童を対象に「きゅうきゅう」をテーマに絵画を募集、応募作品(258点)を展示し、一般の方々による投票審査をもとに入賞作品を選出したものです。

当日は入賞者7名の表彰式の後、甲賀市コミュニティバスの内外を募集作品、ポスター等で飾りつけた「救急キャンペーン号」の出发式を行いました。最優秀賞に選ばれた伴谷東小学校3年の佐々木梨奈さんは「私の絵が街を走るなんて、とてもうれしいです!」と、また他の入賞者からは「あれだけの絵! あれは私の!」と嬉しそうな声が聞こえてきました。

この事業を通して、幅広い年齢の方々に親しみやすい効果的な啓発活動が実施でき、救急業務、消防行政がより身近なものになる絶好の機会となりました。

なお、応募された全作品を掲示したバスは、11月末まで甲南支所区域を運行し、利用者の目を楽しませました。

**甲賀広域行政組合
 甲南消防署**